

「静岡市雨水総合排水計画（基本構想）見直し」に関する
パブリックコメント結果報告

- 1 意見募集期間 令和2年10月5日（月）から11月4日（水）まで 30日間
- 2 提出方法 郵便、ファクシミリ、担当課への持参、市ホームページからの電子申請
- 3 意見提出件数 意見提出者数 17名 意見提出件数 19件

方法	郵便	FAX	持参	電子	合計
	0	10名	5名	2名	17名

性別	男性	女性	合計
	10名	7名	17名

年齢	40代	50代	60代	70代以上	未記入	合計
	4名	1名	8名	3名	1名	17名

4 市民意見の整理、分析結果

意見の分類

分類	内容	件数
①	計画対象区域に関する意見	2件
②	計画年次に関する意見	0件
③	河川の整備目標に関する意見	1件
④	下水道の整備目標に関する意見	3件
⑤	段階的整備計画に関する意見	7件
⑥	その他	6件
合計		19件

整理区分

区分	内容	件数
A	基本構想に反映できるもの又はすべきもの (意見の一部又は趣旨の反映は可能なものを含む)	0件
B	既に基本構想（案）に盛り込み済みのもの	3件
C	基本計画策定時や詳細設計時に参考とするもの	5件
D	その他要望、感想等	11件
合計		19件

静岡市雨水排水総合計画（基本構想）【更新】案に関する意見及び意見に対する回答

	意見	意見の 分類	意見の 整理区分	意見に対する考え方
1	<p>昭和49年7月の七夕豪雨の記憶は今も鮮明に覚えています。あれから色々な対策がなされ被害が無くなりありがたく思っています。</p> <p>このような基本構想があることを知り心強く思います。進めていってほしいと思います。また、山間地は雨が降るとよく道路に土砂が流出し通行できなくなるので、その対策もお願いしたいと思います。</p>	① 区域	D 要望等	<p>本計画は都市計画区域内の河川や下水道など、雨水を排除するための排水施設整備に関する計画です。</p> <p>山間地の土砂の流出対策等については、本計画の対象となりませんが、道路、治山等の関係する部署に申し伝えます。</p>
2	<p>静岡市雨水排水総合計画では、下流域（住居地域）浸水対策を中心に策定されていますが、河川上流部の対策も検討していただきたい。地球温暖化は台風の大型化による風水害など、私たちの生活に様々な影響を与え環境が大きく変化しています。</p> <p>承元寺地区では簡易水道の取水を標高250m～300mの3箇所からしています。維持管理のため入山しますが、沢沿いの山林の倒木が多くなり、沢を塞ぎ流木となり、谷止めダムを埋め尽くし、上流からの土砂と共に谷止めダム上に積み重なっています。この現象を見た時、今後豪雨が発生した時には、土砂崩れが発生し、土石流となり、下流部にある住居を押し潰すのではないかと懸念しています。</p> <p>下流部の人口が多い地域に意識が行くのは当然ですが、上流部においても以前と大きく変わって浸水リスクが高まっています。上流部に住む市民にも目を向けて頂きたい。</p>	① 区域	D 要望等	<p>本計画は都市計画区域内の河川や下水道など、雨水を排除するための排水施設整備に関する計画です。</p> <p>山間地の土砂の流出対策等については、本計画の対象となりませんので、治山等の関係する部署に申し伝えます。</p>
3	<p>③河川整備計画で個別に 浸水対策推進プランと連動しているか？ （同じ計画チームの元でやっているか？あるいは情報を共有しているか？）もう別々にしている余裕は無いと思います。</p>	③ 河目標	B 盛込済	<p>現計画及び今回の見直しは、河川部局と下水道部局が連携し共同で進めています。</p> <p>なお、浸水対策推進プランは、雨水排水総合計画を着実に進めるための実施計画となっています。</p>
4	<p>④下水道の整備目標7年の区切りの根拠は何ですか？（長期では10年？）</p>	④ 下目標	B 盛込済	<p>計画降雨は下水道施設設計指針、放流先河川の整備計画との整合や事業の実現性等を検討して7年確率を採用しています。</p> <p>長期計画段階でレベルアップを必要とする重点対策地区は、10年確率降雨で整備します。</p>
5	<p>計画降雨強度時間雨量70.2mmで十分ですか。</p>	④ 下目標	B 盛込済	<p>計画降雨強度の時間雨量は、これまでの整備状況の評価から7年確率降雨で十分効果が期待でき、事業の実現性等の検討を行い、最新の対象データに基づく70.2mmとしています。</p>
6	<p>長期計画50年後という計画であれば、温暖化の中では、70.2mmをレベルアップとはいわず、段階的に今後もレベルアップしていく計画としていくのが良いのではないかと。</p>	④ 下目標	D 要望等	<p>段階的整備計画の節目には、本計画の効果検証を行い、その都度必要に応じた見直しを実施します。</p>

静岡市雨水排水総合計画（基本構想）【更新】案に関する意見及び意見に対する回答

	意見	意見の分類	意見の整理区分	意見に対する考え方
7	<p>清水区興津中町の一部地域（JR東海道本線沿い北側エリアを中心とした地域）は、頻繁に床下浸水、道路冠水等が発生します。</p> <p>住民はその度、自動車を高い場所へ移動したり、浸水後の処理をしなければなりません。特に平成26年10月台風18号の際は、床上浸水等も発生しました。</p> <p>興津川河口域に位置するため、海面上昇や河口付近の水位が高いと排水が思うようにならず、内水氾濫が発生します。</p> <p>またJR東海道本線を抜ける排水能力が低いと、線路北側に集中的に被害が発生します。</p> <p>まずは早期に「浸水対策地区」に位置付けて頂き、内水氾濫が解消するよう整備をお願いします。</p>	⑤ 整備	C 参考	<p>浸水対策地区は、浸水実績に加え、大きな浸水が想定される地区を浸水シミュレーションにより特定していきます。</p> <p>今後実施する地区別の基本計画において、対策を検討するうえでの参考とさせていただきます。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年7月の大雨により、古谷津川流域増水、道路に土砂が流出。付近住民が一時的に自治会館に避難した。 ・下水道排水路の側溝があふれ国道52号との交差点が冠水し、車両通行不能、迂回を余儀なくされる状況が続いた。 ・道路整備に着手していただきたい。生活道路の安全性向上。 	⑤ 整備	C 参考	<p>今後実施する地区別の基本計画において、対策を検討するうえでの参考とさせていただきます。</p>
9	<p>当該河川（沢端川：興津地区）のJR下部分は蛇行している上、河積断面が小さく、最近の線状降水帯等の時間雨量の多い降雨に対応できない。家屋への浸水や、JR本線を止めてしまう危険性があります。改善をお願いします。</p>	⑤ 整備	C 参考	<p>今後実施する地区別の基本計画において、改修の必要性を検討してまいります。</p>
10	<p>目標が決まったらできるだけ早く具体化した計画に移り、実施可能な所から（予算編成まで）迅速に行うことができるようにしていただきたい。</p> <p>気候変動が激しいこの頃、日本各地で未整備地区が特に大きな災害となっています。このような事を未然に防ぐために、早い実施の必要性を感じます。</p>	⑤ 整備	D 要望等	<p>浸水被害の軽減に向けた整備を引き続き実施していきます。</p>
11	<p>コンパクトに言えば当地区（柏尾）は急斜面、塩田川に通じる5本の溝川あり。</p> <p>当地区3ブロックの中で低い2ブロックが浸水する。</p> <p>よって今後とも、整備計画を段階的に進めることが望ましいと思います。</p>	⑤ 整備	D 要望等	<p>浸水対策推進プランにおいて、清水区柏尾地区の事業は完了していますが、河川改修やポンプ施設整備の効果を検証するためにも、引き続き注視していきます。</p>
12	<p>近年の気候変動に対して対応し見直しは必要だと思う。地域の規模や予算、日程の関係上数年がかかってしまうのは仕方ない事だと思うが、気候変動は待つてはくれない。</p>	⑤ 整備	D 要望等	<p>浸水被害の軽減に向けた整備を引き続き実施していきます。</p>

静岡市雨水排水総合計画（基本構想）【更新】案に関する意見及び意見に対する回答

	意見	意見の 分類	意見の 整理区分	意見に対する考え方
13	この位置図によると、清水区中部に浸水対策地区が集中している。今後の対策もさることながら、昭和49年7月七夕豪雨以降での浸水対策について、検証し公平な予算配分とともに抜本的対策を明示願いたい。	⑤ 整備	D 要望等	浸水対策推進プランの浸水対策地区は、平成元年～16年までの浸水被害履歴から市内41地区中、清水区は18地区を位置付けています。 本プランに基づく浸水被害の軽減に向けた、河川改修やポンプ施設等の整備を、引き続き実施していきます。
14	河川氾濫や高潮など、排水先がない昨今の状況において、河川と下水道だけでは浸水被害の防止に限界が見えている。 山林の水源涵養機能低下や農地の保水・貯水機能を持つ土地を転用された場合の雨水流入量を試算してからの計画があれば、備えが充実するのではないか。土地の所有者は農地転用の方が経済的利点は大きい。 「水田埋立防止協力金」を助成している市もあるが、治水対策の中に農地の貯水機能を含み、転用を抑制することは困難であるはず。その貯水機能に見合う対価が無い上、売却した場合の譲渡収入は満足できる。 水害被害が大きい地域に市有水田など持ってはいかがでしょうか。	⑥ その他	C 参考	浸水対策では、河川や下水道により雨水を流下させ排除する施設整備を基本としますが、整備が困難な場合には、雨水を貯留する施設による対策を位置付けます。 今後実施する基本計画の参考とさせていただきます。
15	当該部分の土砂の崩落は、過去5年間に6回の崩落が見られ、大規模崩落の前兆と考えられない事も無い。山の樹木も大きく成長していて、山の表面部分を動かしている事も原因の一つですが、JRを長期に止めてしまうので、大規模な山止め施設をお願いしたい（雨水処理を含め）。	⑥ その他	D 要望等	本計画は河川や下水道など、雨水を排除するための施設に関する計画です。頂いたご意見は、治山の担当部署に申し伝えます。

静岡県雨水排水総合計画（基本構想）【更新】案に関する意見及び意見に対する回答

	意見	意見の分類	意見の整理区分	意見に対する考え方
16	<p>弊社では、雨水の入り口となるグレーチング部分に着目し、調査、研究をしております。</p> <p>これまでの調査から、グレーチング部におきまして以下の3点の問題・課題があると認識しております。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 落ち葉による柵ふた(グレーチング)の閉塞 2. 砂利、ゴミ等による閉塞 3. 自転車のタイヤのはまり込み、すべりのリスク <p>(1～3の実例写真を添付致します)</p> <p>浸水被害を軽減させるためには、「雨水を飲み込む入り口」となるグレーチング部の対策も重要と考えます。</p> <p>実際に、グレーチングが水を飲み込むことができずに冠水、浸水が発生しているケースがあることが確認されております。</p> <p>(上記3は雨水排水には直接関係はありませんが、整備を進める上で同時に解消させたほうがより効率的かと思っております。)</p> <p>ぜひ、グレーチング部における問題・課題の解消に向け、計画への新たな観点の追加のご検討の程、宜しくお願い致します。</p>	⑥ その他	C 参考	浸水対策の整備手法のひとつとして、参考にさせていただきます。
17	<p>様々な浸水対策事業の中で、ポンプ場の基幹施設の整備があります。</p> <p>特に地域によっては、このポンプが重要になっている所もあります。</p> <p>異常気象時にポンプの施設・電源等が、正常に稼働できる様に計画されているのか。</p>	⑥ その他	D 要望等	ポンプ施設については、常に正常に稼働できるよう、年間を通じて定期的に点検を実施しています。また、災害時の停電を想定した自家発電設備や体制を整えています。
18	<p>当該地区の駐車場前の側溝の脇が天気の良い日も常に濡れている。</p> <p>側溝の水の流れも上流からは来ていない。道路が陥没しないかと心配している。</p>	⑥ その他	D 要望等	ご意見については、担当部署に申し伝えます。
19	<p>興津中町浄水場の廃止をもう一度見直し、住民の意見を取り入れ、十分な説明がほしい。廃止となっても記念公園的な物にし残してほしい。</p>	⑥ その他	D 要望等	興津中町浄水場については、上水道の施設であるため、上水道の担当部署に申し伝えます。